

まちなかアートフェスタ

コンテンポラリーダンス ワークショップ

『カラダ探検、それからダンス』



写真=川上坐

2006年3月3日(金)～5日(日)

すみじまほ
講師=隅地茉歩(ダンスユニット セレノグラフィカ)

会場=福井まちなか文化施設響のホール 6階パフォーミング BOX



写真提供=朝日新聞社

『カラダ探検、それからダンス』

自分の身体って、そんなに自分の思い通りになるもんじゃない。
まずは自分がレポーターになって、自分の身体を取材してみましょう。
思ったより柔らかいのはどこ？ なかなか力が抜けないのはどの辺り？
うっとりしたり、がっかりしたりをたくさん味わったら、もうダンスの卵を産んだと
いうこと。他の人の卵のあたため方なんかも横目で見ながら、でもうんと
わがままにヒナを育ててあげましょう。

そこからダンス。3日で飛び立つあなたの鳥を、ちゃんと連れて帰りましょう。

隅地 茉歩

講師プロフィール ● 隅地 茉歩 sumiji maho —振付家、ダンサー

学究の道半ばにして突如ダンスに開眼。関西を拠点に国内外でダンサーとしての経験を積み、1997年、阿比留修一とダンスユニット セレノグラフィカを結成、代表として現在に至る。デュエット作品の創作を基軸に、スタイルの確立と解体を続行、近年はソロやグループ作品の振付も手がける。規格外体型で放つ緻密な身体操作により「踊るぬいぐるみ」とも。トヨタコレオグラフィアワード2005にて「次代を担う振付家賞」受賞。